

# KOCHI 2017 ROTARY 2018 CLUB SINCE 1937



ロータリー:変化をもたらす  
2017-18年度 RIテーマ

## 週報



Weekly report 第3323回 2017年10月24日 2017年10月31日発行

### ● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。先週の日曜日は台風21号が土佐沖を通過して、高知でも結構強い風が吹いて停電等がありました。皆さん被害はなかったでしょうか。うちでは北風が強く吹いたせいか、裏山からたくさんの葉っぱが飛んできて翌日の掃除が大変でした。



本日は、掛水ガバナー補佐がお出でくださって卓話をいただくことになっています。また、今月は米山月間でもあります。

米山梅吉は明治元年2月4日、高取藩植村家の家臣である父・和田竹造、母・うたの3男として江戸で生まれました。しかし、わずか5歳のときに父親が病死、母うたの実家、三島に移ります。12歳のとき近所の名主である米山家に養子にもられ、地元の名門沼津中学校を3年途中で退学。家出をして東京に行きます。当時、JR等はありませんから、歩いて3日間かけて江戸まで行ったそうです。東京では遠い親戚の家に身を寄せて学校に通ったようですが、最初の学校は易しすぎるからとやめ、その次の漢学の学校もやめて、東京府の公務員試験を受けて役人となり、お金を貯めながら教会で英語を勉強。19歳で仕事を辞め青山学院の前身である東京英和学校に入学。勉強しながらアメリカ留学の仲介してもらいます。

21歳でアメリカサンフランシスコに渡り、青学の母体になっている教会に入り、皿洗いなどをしながら学校に通います。いろいろな大学に行って8年間アメリカで過ごし、帰国後米山家の娘・はること結婚、正式に米山家の人間になります。

30歳で三井銀行に入行。早い出世で42歳で常務。47歳で「新隠居論」を書きます。

大正9年、50歳で東京RCを創立。さらに三井信託銀

行も設立し、銀行業務で貸せなかった、日本劇場、東宝劇場、日比谷映画館等々に融資します。これはロータリーという社会奉仕です。また、自費で海外留学をしたい志のある人に、資金援助をしますが、これはロータリーという国際奉仕です。青山学院の小学校・幼稚部門も自費で創り、自らが校長、妻が園長になりますが、これは青少年奉仕につながります。このように、彼は一人でロータリーのいろんなことを実践していたのだと思います。

こういった行動が、日本のロータリーが国際ロータリーに復帰したときに、アジア民族の融合のために役立つことはないかということで、米山梅吉の業績を称えて、ロータリー米山奨学金として、昭和28年3人の留学生の支援からスタート。現在の年間事業費、12億円以上。今年は793名を支援するまでになっています。

米山梅吉の人生を見ると、ロータリーの I serve の精神を実行していることがよく分かりますし、各クラブのさまざまな問題などは、すごく小さなものに見えてしまいました。私も梅吉の爪の垢を煎じて飲みたい気持ちですが、皆さんも奨学金だけではなく、米山梅吉についても、機会があれば知って欲しいと思いました。

本日は、ガバナー補佐のお話を伺います。

### ※「新隠居論」要旨

老人がいつまでも頑強で、何事にも干渉すると社会の物事の進歩がうまくいかない。必要なことを実行する際、老人の機嫌をお伺いしなければならない場合が多くなり、仕事を成功させる困難度は仕事をする力があるかどうかではなく、老人たちの同意を得られるかどうかで決まり、結果として仕事への責任感が薄くなる。人間は社会のために奉仕するところがないと、人間としての義務を十分に果たしたとは言えない。だから、老人になれば隠居して社会のために尽くすべきだ。

### ■本日のプログラム [10月31日]

米山記念奨学生卓話  
高知工科大学 基盤工学  
デュリヤサーキット・ファークファン 氏

会 長	高 村 禎 二
副 会 長	横 田 英 毅
幹 事	高 橋 明 子
副 幹 事	中 島 和 代
会報責任者	古 谷 純 代

## ● ローターソング「我らの生業」

## ● 来訪ロータリアン

高知第2分区 掛水洋一郎ガバナー補佐 (高知北RC)  
随員 吉村保利氏 (高知北RC)



## ● 会長報告

- ・ガバナーノミニージェグネイトに高松東RCの篠原氏が決定しました。
- ・80周年記念行事の週報を、元会員の皆さんにも送付することを理事会で決定しました。
- ・今日、10月24日はロータリー財団の大きな事業の一つである、世界ポリオデーです。
- ・1月27日のIMへの申し込みは12月27日が締切です。入会3年未満の方はできるだけ出席をお願いします。

## ● 幹事報告

- ・理事会の議事録を例会場前に張り出しています。事務局でも閲覧可能です。
- ・例会終了後、クラブ協議会を行います。

## ● ゲストスピーチ

### ガバナー補佐卓話

高知第2分区 掛水洋一郎ガバナー補佐 (高知北RC)

皆さん、こんにちは。2017-18年度の高知第2分区のガバナー補佐を務めています掛水洋一郎と申します。よろしくお祈りします。所属クラブは高知北RCです。クラブから推薦を受けて、ガバナー補佐という役目も余り理解しないまま突入したわけですが、自分の能力のなさとか、そういうところいろいろ気がついて反省しているところです。ただ、反省よりは少しでも前を見て、進んでいきたいと思って務めています。



本日、貴クラブ訪問が最後の8クラブ目で、ちょっと落ち着いたつもりでしたが、こちらに入ってきた瞬間、まず人数の多さと皆さまの顔を拝見したとき、そして関パストガバナーの計らいで拍手で迎えられるとやはり緊張して、ドキドキしています。

高知クラブさんとはにかく歴史も長く、四国で一番の会員を誇るクラブで、我々他クラブからすると、羨望の的です。それだけに、高知クラブさんへメイキャップなどお邪魔するのは何となく敷居が高いという感覚でしたが、先ほどの会長幹事会でお会いした横田副会長が、以前は北クラブの準会員というぐらいメイキャップにお出ででしたので、気楽にお話いただいてちょっと安心しているところです。

ガバナー補佐の仕事は何かと考えたとき、一つは柳澤ガバナーの思いと各クラブの方々と連携するパイプ役、もう一つはIMの開催が大事な任務だと考えて頑張っています。

皆さんもクラブ計画書の中に、RI会長と2670地区の柳澤ガバナーのテーマを書かれていると思います。RI会長の2017-18年度のテーマは「ロータリーに変化をもたら

す」で、「私たちはその奉仕活動が人数が多かろうが少なからうが、誰かの人生をよりよくしていることを知っています。入会のきっかけが何であれ、私たちがロータリーに留まり続けるのは、ロータリーで充実感を得ることができるからです。この充実感は何週、毎年変化をもたらす。ロータリーの一員であることから湧き出てくるものであります」と締めくくっています。私見ですが、これはロータリーの倫理観を表現しているのではないかと思います。この思いを持つということは、非常にロータリアンとしては大事なことではないかと考えています。

2670地区の柳澤ガバナーは、地区の方針を「クラブの特性をいかそう」と発信しています。四つのテストに基づき、背伸びせず、自分のことを実行することにあると思います。各地域に根付いたクラブは、その地域の状況に応じた寄与でき得る事業を計画し、それを実行してきており、各クラブそれぞれが誇るべき歴史と長所を維持しています。今後は、超少子高齢化社会、地域社会の衰退の厳しい状況が予想される。それを乗り越えるため、前述のテーマを発信されました。

昨年度RIは、クラブ運営、例会の形態、出席のあり方など、部分的ではありますが、それぞれのクラブの自主的な運営を、クラブ細則をもって変更することが可能となり、既に施行し変革を求めているクラブもあります。

こういうことを踏まえて、柳澤ガバナーは各クラブの持つ特性をいかし、協議し、今まで以上に自主性を持ってロータリーにおけるクラブ運営を行っていかうとの意味を込めているように思います。

100年以上の歴史が続くロータリーですから、当然、世の流れ、文化の発展の流れに沿って変わる、人の考え方自体も変わってくるのは当然のことだと思います。だから、そういうことも踏まえて、ロータリーの原点という大事な根幹は保ちながら、時代に応じた対応を細則をもって考えていくようにしていかないと、クラブの運営、存続そのも



のが危ぶまれると思います。

ロータリーとはという質問に、超我の奉仕、哲学、宗教、親睦、人生の道場等々の大ききまとめた言葉をよく聞きました。私自身は未だよく理解はしていませんが、それは個人個人、皆さん一人一人が思うことであって、これという正解はないんじゃないかと。もちろん、ロータリー活動の根幹に関わる部分については、多少の違いはあったとしても、皆さんで共用する必要はありますが、答えとして定義するのは難しいのではないかと思います。

私は仁淀川町の別枝というところで生まれました。秋葉祭りの里という皆さんにはお分かりだと思いますが、そこで8年弱過ごしました。このクラブには、同じ別枝出身の吉原先輩がいらっしゃいます。心強い吉原さんの一番上のお兄さんが先生をされていて、どこかの学校で習ったような気もします。自分では、かなりわんぱくだったと思います。わずか8年間でしたが、自然の中で生きていく何か身についていて、もし、山で遭難しても、私は何とか生きのびるような気がします。今は親戚も誰もいませんが、別枝にはずっと愛着があり、多少余裕ができたなら家を建てて移住しようかと思っています。1年に3、4回田舎に帰るのですが、周りは80歳以上のお年寄りばかりで、小さいころのことを知っていて声をかけてもらいます。そういうことを思うと、何か地域に貢献できること、何か役立つことが、ひょっとするとあるのではないかという気がします。これも、ロータリーの中で身についたことだと思っています。

お坊さんが托鉢で歩くとき、必ずお経を唱えます。托鉢の道中全てが修行であり、供養ですから念仏は唱えるのですが、一つには、歩くことによって、アリなどの小さな動物を知らず知らずに踏みつけていく。その供養の意味で念仏を唱えるのだそうです。ここからは笑い話になりますが、私は数年前から、例え自分が噛まれても蚊やゴキブリといったものを殺したことはありません。車に虫が当たって死にますので、ゼロではありませんが故意にはしない。というのは、生に関する感じ方が少し変わって来たように思います。そんなふうになっているせいとかどうか分かりませんが、最近、余り虫に刺されるということもなくなってきました。年のせいなのか、どこでどう変化があったの

かはよくわかりませんが、ロータリーの精神が少し分かってきたのかなと思っています。

坂本龍馬は、没後150年経っても、日本全国どこの県へ行ってもファンがいる。これは龍馬の精神がロータリーの超我の奉仕につながるのではないか。超我の奉仕というのは、言葉としても、人が生きる上でもなかなか難しいことだと思いますが、自分の身を捨てて革命的なことをする。これは素晴らしいことだと思います。

先ほどの会長さんの挨拶にもあった米山梅吉さん。米山記念奨学会は、梅吉さんが亡くなった後、東京クラブの有志によってできた基金ですが、亡くなった後に評価されるというのは、やはり素晴らしいことだと思います。

会員増強や退会防止はずっと言われていますが、なかなか妙手は見つからない。私は米山記念奨学会の地区委員を務めました。当時は、まるっきり米山のことは分からない素人でしたが、周りからいろいろ教えていただきながら進んでいきました。私は入会18年目ですが、それでも初めての経験ですし、入会3年目の方が委員になっても初めての経験として、それ程の差はないのではないかと。もちろん、若い方にはベテランのフォローは大事ですが、そうすると、ロータリーの価値観への理解が早いだろうと。価値観を知りロータリーの魅力を知ったら、退会という言葉は出てこないのではないかと。単にお昼に集まって食事をして、話をして帰るとのことだけでは、今の若い人が付いてくる要素はないように思います。

平成30年1月27日、四万十RC主催のIMが中村プリンスホテルで開催されます。四万十RCはわずか17名の会員ですから、皆さんでほとんどの役を補いながら奮闘している最中です。一昨年の規定審議会の決定について、皆さんと意見交換会をしようという、非常にタイムリーな話題ですし、これから先のロータリークラブの進み方も含めて、皆さんのご意見をお伺いしたいと考えています。ぜひ、全員登録で参加をお願いしたいと思います。

もう1点、マイロータリーへの登録に関して、私どもの北クラブは得意な会員が先導して全員登録をしました。ぜひ、高知クラブも全員登録をよろしく願います。

以上で、私のスピーチといたします。ご清聴ありがとうございました。



### ◇ 例 会 変 更 ◇

高知中央RC	11月 9日	ロータリー休日(城)	高知西RC	11月10日	例会場変更(三)
高知ロイヤルRC	11月14日	地区大会に振替(旭)	高知西RC	11月17日	地区大会に振替(三)
高知北RC	11月20日	地区大会に振替(三)	高知ロイヤルRC	11月28日	4RC合同夜間例会に振替(旭)

※例会場ホテル：(三)…三翠園(城)…城西館(阪)…ザクラウンパレス新阪急高知(旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

### ニコニコ箱

- 武田 倫明 } 高知RC創立80周年おめでとうございます。この度の式典にお招きいただいたこと、心より感謝いたし  
堀 大器 } ます。ここへ帰ってくると、いつも温かく迎え入れてくださり「転勤したのかな・・・」と錯覚し、少しの時  
田中 康晶 } 間ではありましたが高知RCの一員であったことを誇りに思います。80周年の式典、懇親会も心が伝わり  
素晴らしく、数々の式典に出席しますが、これほど感動したことはございません。本当にありがとうございます。  
最後にとなりますが、高知RCのますますのご発展と会員の方々の皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。  
追伸・毎年とお願いしたいのですが、3年に1回位は呼んでください。よろしくお祈りします。
- 掛水洋一郎 } 本日はよろしくお祈りします。  
吉村 保利 }
- 高村 禎二 } 掛水ガバナー補佐様、本日は高知クラブにおいでいただきありがとうございます。例会後のクラブ協議会  
高橋 明子 } もよろしくお祈り申し上げます。また、80周年の週報ができあがりました。古谷会員、筒井会員のお陰で  
すばらしいものになりました。ありがとうございます。
- 竹下 篤範 今日、70周年記念講演会のご案内をメールボックスに入れさせていただきます。11月4日(土)かるぼ  
ーとで12時30分開場にて開催いたします。連休中で何かとご予定があることと思いますが、3人の講師の  
方々は日本でも高名な方々で、高知ではなかなか聞けない貴重な講演だと思っております。認知症を取り巻く  
最新の話題について、それぞれの分野で話題を提供されると思っております。ご都合がよろしければ、ぜひお出  
かけください。
- 西山 彰一 竹下会員が理事長をお務めになっておられる竹下病院、開院70周年、誠におめでとうございます。竹下  
会員並びに皆さま方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。
- 岡 亮助 妻の誕生日に素敵なお花をありがとうございました。
- 隅田 和稔 妻への花束をありがとうございました。今年はこの日を忘れていました。おかげで夫婦の危機を回避でき  
ました。
- 吉原 馨 10月は誕生月です。10月10日の例会は欠席し申しわけありませんでした。余り歓迎していませんが、後期  
高齢者になりました。掛水ガバナー補佐、本日は卓話ありがとうございました。仁淀川町別枝出身として  
同郷者の紹介いただき嬉しい限りです。
- 中島 和代 掛水ガバナー補佐様、随員の吉村様、本日は来訪ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくご指  
導お願い申し上げます。
- 杉本芙美子 遅くなりましたが、7日の80周年記念式典祝賀会、楽しい一夜でした。懐かしい方達にもお会いできたり、  
温かく穏やかな高知ロータリーの良さが十分生かされた会でした。土本委員長、中田、中澤(清)両副委  
員長はじめ各委員長、お疲れ様でした。そしてありがとうございました。例会場の前でぞうりの底がはず  
れてしまい、歩けない状態になりました。親睦委員の皆さんにお気遣いいただき、隅田会員にポンドで修  
理していただきました。これでまたしばらく使え  
そうです。ありがとうございました。
- 古谷 純代 } 週報第3321号に80周年記念式典祝賀会を掲  
(会報委員会) } 載いたしました。会長のご挨拶や写真、また出  
席叶わなかったホームカミングメンバーからの  
たくさんのメッセージを載せております。紙面  
の関係上、文字が若干小さいですが、皆さん  
の想いをぜひご覧ください。

◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メークアップ	出席率
10月24日	(-7)97	58	19	13	78.89
10月10日	(-6)97	57	9	25	90.11
10月 7日	(-4)97	80	5	8	94.62

### ● 累計額 [10月24日現在]

ニコニコ箱	466,500円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	151,209円	ポリオ募金	186,700円
-------	----------	--------------------------------	----------	-------	----------

### ■ 次週のプログラム [11月 7日]

柳澤光秋ガバナー公式訪問  
「ガバナーアドレス」

創 立 昭和12年10月  
例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階  
TEL(824)8660 FAX(824)2529  
E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp  
HPアドレス http://www.221.ne.jp/kochirc/